

平成27年7月15日
健康増進課 感染症・新型インフルエンザ
対策推進担当 大木、中島
内線 1836、1832 直通 0952-25-7075
E-mail:kenkouzoushin@pref.saga.lg.jp

ヘルパンギーナの流行発生「警報」と 流行性耳下腺炎の流行発生「注意報」を發表します

佐賀県では、平成27年7月6日（月曜日）～7月12日（日曜日）の週（第28週）の感染症発生動向調査で、ヘルパンギーナ（いわゆる夏かぜ）の定点医療機関当たりの患者報告数が6.04（患者報告数139人）となり、流行発生警報の開始基準値である「6」を超えたことから流行発生警報を發表します。

ヘルパンギーナは、平成22年第27週に大きな流行（定点医療機関当たりの患者報告数6.43）がありましたが、今回はそれ以来の警報發表となります。

また、同じく第28週において、流行性耳下腺炎（いわゆるおたふく風邪）の定点医療機関当たりの患者報告数が3.26（患者報告数75人）となり、注意報の基準値である「3」を超えたことから流行発生注意報を發表します。

過去の統計でも、流行性耳下腺炎は、例年この時期に患者数が増加しています。

（注）

○定点医療機関とは、感染症の発生状況を知るために一定の基準に従ってこれらの情報を報告してくれる医療機関のことです。

○定点医療機関当たりの患者報告数とは、一週間に一つの定点からどのくらいの報告があったかを表す数値で、定点医療機関当たりの患者報告数は、患者報告数を定点医療機関の数（23医療機関）で割り算をします。